

「小布施町 総合計画・総合戦略策定に関するアンケート調査結果」正誤表

頁	誤	正
p10	問 2	
	「60代」が20.0%で最も高く、次いで「50代」が17.7%	「60代」が <b>20.1%</b> で最も高く、次いで「50代」が <b>17.8%</b>
p13	問 6	
	「65歳以上の家庭」は9.4%、65歳以上が一人の家庭は3.7%	「65歳以上の <b>のみ</b> の家庭」は9.4%、「65歳以上が一人の家庭」は3.7%
p39	「買物、通院、所用などの移動が不便である」、が26.2%である。	「買物、通院、所用などの移動が不便である」、「 <b>地価や家賃が高い</b> 」が26.2%である。
p43	次いで「待機児童がない」が43.6%である。	次いで「待機児童がない」が <b>43.4%</b> である。
p48	「ある程度はよい」と答えた人では、	「ある程度は <b>すすめられる</b> 」と答えた人では、
p54	4～20位＝ピンク色	<b>文言削除</b>
p72	役所・政策について	
	・小布施らしい文化、伝統文化の掘起し、予算が少ない	・小布施らしい文化、伝統文化の掘起しに <b>対する</b> 予算が少ない
p76	ごみ出しについて	
	・歳をとって粗大ごみのゴミ出しが、遠く <b>重</b> い、自己負担が高つく	・歳をとって粗大ごみのゴミ出しが、遠く <b>重</b> く、自己負担が高つく
p 78	その他	
	・くりんこ祭りの時みんなで踊れるような対策をしてほしい	・くりんこ祭りの時 <b>に</b> みんなで踊れるような対策をしてほしい
	・ゴミ屋敷になりそうな家がたくさんあり、 <b>危険</b>	・ゴミ屋敷になりそうな家がたくさんあり <b>危険</b>

「小布施町 総合計画・総合戦略策定に関する人口動向分析」正誤表

頁	誤	正
P 4	2010年国勢調査の15～24歳は785人で 2015年国勢調査の20～29歳は <b>336</b> 人で▲ <b>449</b> 人	2010年国勢調査の15～24歳は785人で 2015年国勢調査の20～29歳は <b>652</b> 人で▲ <b>133</b> 人
P 9	国立社会保障人口問題研究所（以降、社人研）の推計によると、 <b>2015</b> 年以降は年 <b>0.8%</b> 前後の減少が継続し、 <b>2045</b> 年には <b>7,813</b> 人（2015年の約7割）になると推計されています。	・社人研の推計によると、 <b>2020</b> 年以降は年 <b>0.4%</b> 前後の減少が継続し、2045年には <b>7,119</b> 人（2015年の約7割）になると推計されています。
P10	年少人口、生産年齢人口は減少を続けていますが、老年人口は増加を続けています。2015年における年齢3区分の割合を2010年と比較すると、生産年齢人口は <b>5.6%</b> の減少ですが、年少人口は0.4%の減少にとどまっています。老年人口の割合は、4.8%の増加となっています。	年少人口、生産年齢人口は減少を続けていますが、老年人口は増加を続けています。2015年における年齢3区分の割合を2010年と比較すると、生産年齢人口は <b>4.4%</b> の減少ですが、年少人口は0.4%の減少にとどまっています。老年人口の割合は、4.8%の増加となっています。
P11	社会増減（転入数－転出数）は、1990年から <b>2000</b> 年までは転入数が上回り、その後、増減を繰り返しましたが、 <b>2010</b> 年以降は転入数が転出数を上回 <b>っています</b> 。最も減少の大きかった <b>2008</b> 年は転入数 <b>274</b> 人に対し転出数 <b>374</b> 人で、社会増減 <b>-100</b> 人でした。 <b>2017</b> 年、 <b>2018</b> 年においては、転出超過となっており、 <b>2017</b> 年は <b>60</b> 人、 <b>2018</b> 年 <b>41</b> 人です。	社会増減（転入数－転出数）は、1990年から <b>2000</b> 年までは転入数が上回り、その後、増減を繰り返しましたが、 <b>2010</b> 年以降は転入数が転出数を上回る <b>傾向にあります</b> 。最も減少の大きかった <b>2008</b> 年は転入数 <b>274</b> 人に対し転出数 <b>374</b> 人で、社会増減 <b>-100</b> 人でした。 <b>2017</b> 年、 <b>2018</b> 年においては、転出超過となっており、 <b>2017</b> 年は <b>27</b> 人、 <b>2018</b> 年 <b>29</b> 人です。
P12	町外周部と町中心部それぞれの人口推移をみると、町外周部は2004年から <b>2018</b> 年にかけて、平均 <b>0.8%</b> ずつ減少しています。町中心部は、数値は微動するものの、2004年から <b>2014</b> 年の年平均減少率は <b>0.05%</b> であり、人口が微減しています。	町外周部と町中心部それぞれの人口推移をみると、町外周部は2004年から <b>2018</b> 年にかけて、平均 <b>0.8%</b> ずつ減少しています。町中心部は、数値は微動するものの、2004年から <b>2018</b> 年の年平均減少率は <b>0.05%</b> であり、人口が微減しています。
P16	・小布施町における2018年の転入数は323人、転出数は304人であり、純移動数（転入数－転出数）は <b>39</b> 人と、転入超過となっています。	・小布施町における2018年の転入数は323人、転出数は304人であり、純移動数（転入数－転出数）は <b>19</b> 人と、転入超過となっています。
P18	転出は、男女とも20～24歳の県外（東京圏）への転出が多いです。男性は15～34歳まで転出が多いですが、なかでも15～24歳の転出が突出して多いです。また、25歳～39歳までの男性の <b>圏内</b> （通勤通学率10%圏内）への転出が多いです。女性は25～34歳までの県内への転出が多いです。	・転出は、男女とも20～24歳の県外（東京圏）への転出が多いです。男性は15～ <b>39</b> 歳まで転出が多いですが、なかでも15～24歳の転出が突出して多いです。また、25歳～39歳までの男性の <b>県内</b> （通勤通学率10%圏内）への転出が多いです。女性は25～34歳までの県内（通勤通学率10%圏内）への転出が多いです。
P19	また、男女ともに15～24歳はマイナス（転出超過）となり、 <b>25</b> 歳以降で町へ転入する傾向がみられますが、男性の方がその傾向は弱いです。	また、男女ともに15～24歳はマイナス（転出超過）となり、 <b>30</b> 歳以降で町へ転入する傾向がみられますが、男性の方がその傾向は弱いです。
P21	一方、「20～24歳が25～29歳になるとき」に <b>大きく</b> 人口が増加しています。これは、結婚、もしくは大学卒業後のUターン就職に伴う転入の影響が考えられます。	一方、「20～24歳が25～29歳になるとき」に <b>大きく</b> 人口が増加しています。これは、結婚、もしくは大学卒業後のUターン就職に伴う転入の影響が考えられます。

